

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 <small>あさひかわ もんべつ</small> 旭川・紋別自動車道（一般国道450号） <small>まるせつぶ えんがる</small> 丸瀬布遠軽道路	事業区分	一般国道 国土交通省 北海道開発局			
起終点 自：北海道紋別郡遠軽町丸瀬布南丸 <small>ほつかいどうもんべつ えんがるちようまるせつぶみなみまる</small> 至：北海道紋別郡遠軽町豊里 <small>ほつかいどうもんべつ えんがるちようとよさと</small>	延長 18.0 km				
事業概要 旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町、湧別町を經由し、紋別市に至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路である。 このうち丸瀬布遠軽道路は、高速ネットワークの拡充による地域間の連絡機能強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流効率化の支援を目的とした、丸瀬布ICから遠軽豊里IC（仮称）に至る、延長18.0kmの事業である。					
H18年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H19年度用地補償着手	H20年度工事着手		
全体事業費	約492億円	事業進捗率	約53%	供用済延長	0.0 km
計画交通量	6,600～6,800台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 平成27年	
	(事業全体) 1.1	(残事業)/事業全体 187/530億円 （事業費：141/484億円 維持管理費：46/46億円）	(残事業)/事業全体 594/594億円 （走行時間短縮便益：474/474億円 走行経費減少便益：82/82億円 交通事故減少便益：38/38億円）		
感度分析の結果 事業全体および残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量：B/C=0.97～1.3(交通量±10%) 【残事業】 交通量：B/C=2.8～3.7(交通量±10%) 事業費：B/C=1.1～1.2(事業費±10%) 事業費：B/C=3.0～3.4(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.1～3.3(事業期間±20%)					
事業の効果等 事業の必要性及び効果 ①主要都市間の利便性向上 ・道北圏の主要都市である旭川市と遠軽町の所要時間短縮により、地域住民の利便性向上や地域間交流の活性化が期待される。 ②物流通利便性向上 ・オホーツクで水揚げされたホタテの流通利便性向上が期待される。 ・オホーツクで飼育された生体牛の流通利便性向上が期待される。 ③安全性向上 ・走行環境の向上により、道路交通の安全性向上が期待される。 ・エゾシカロードキルの事故減少による道路利用者の安全性の向上が期待される。 ④観光地への利便性向上 ・年間を通じてオホーツク圏の観光地への速達性及び安全性向上が期待される。 ⑤救急搬送の安定性向上 ・高度な医療機能を有する旭川市への救急搬送の安定性向上が期待される。 ⑥血液搬送の安定性向上 ・血液製剤供給の安定性向上が期待される。 ⑦都市間バスの利便性向上 ・都市間バスの安定性及び快適性が確保され、バス利用者の利便性向上が期待される。 ⑧災害時の緊急輸送ルートの強化 ・大規模災害時において住民の避難路を確保するとともに、被災した地域などからの迅速な救急搬送や救援物資等の輸送の確実性向上が期待される。 ⑨CO2排出量の削減 ・自動車からのCO2排出量2,113(t-CO2/年)の削減が期待される。					

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

網走市をはじめとする3市14町1村の首長等で構成される「オホーツク圏活性化期成会」等より、早期整備の要望を受けている。

知事の意見：

高速ネットワークの拡充による道央圏・道北圏とオホーツク圏の連携強化により、地域間交流の活性化や物流の効率化が図られるなど、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続について異議はない。

なお、事業の継続にあたっては、環境への影響を最小限にとどめること。また、徹底したコスト縮減を図るとともに、より一層、効率的・効果的に執行し、早期供用を図ること。

事業評価監視委員会の意見

当委員会に提出された再評価原案準備書の対応方針について、北海道開発局案を妥当と判断する。なお、道路事業の総事業費の設定に当たっては、当初調査の充実や地質変動リスクの適切な反映などについて検討すること。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成21年 1月 道の駅「流水街道網走」開業
- ・平成21年 3月 一般国道335号 新佐呂間トンネルが開通
- ・平成21年12月 市町村合併により、上湧別町と湧別町が合併し「湧別町」が誕生
- ・平成22年 3月 旭川・紋別自動車道が比布JCT～丸瀬布ICまで開通
- ・平成25年 3月 一般国道39号 北見道路 開通
- ・平成25年 6月 シーニックバイウェイ北海道「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」が候補ルートとして登録

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成20年度に工事着手して、用地進捗率約84%、事業進捗率約53%となっている。
(平成27年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き、早期供用に向けて事業を進める。
平成28年度：丸瀬布IC～(仮称)瀬戸瀬IC間 延長11.2km(2/2)開通予定

施設の構造や工法の変更等

舗装基準の改定、切土土質の見直し、河川浸食に伴う道路構造の見直し、湧水による法面保護工の見直し及び不良土対策工の追加により事業費が増加している。引き続きコスト縮減に取り組んでいく。

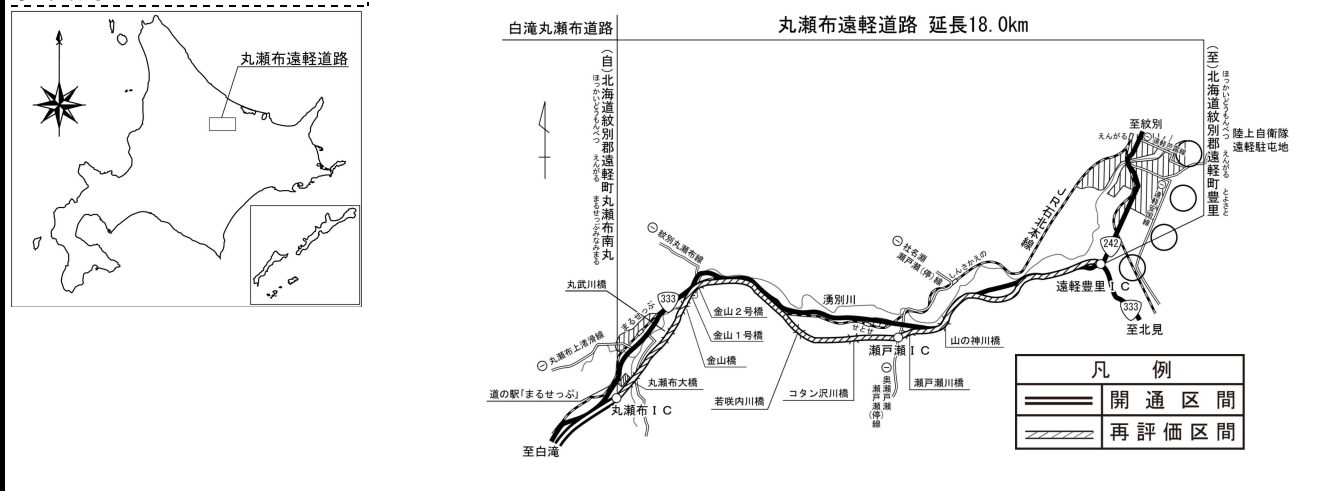
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。